



宇治茶スイーツによる 観光振興プロジェクト

立命館大学経済学部

寺脇ゼミ有志団体 寺脇部屋

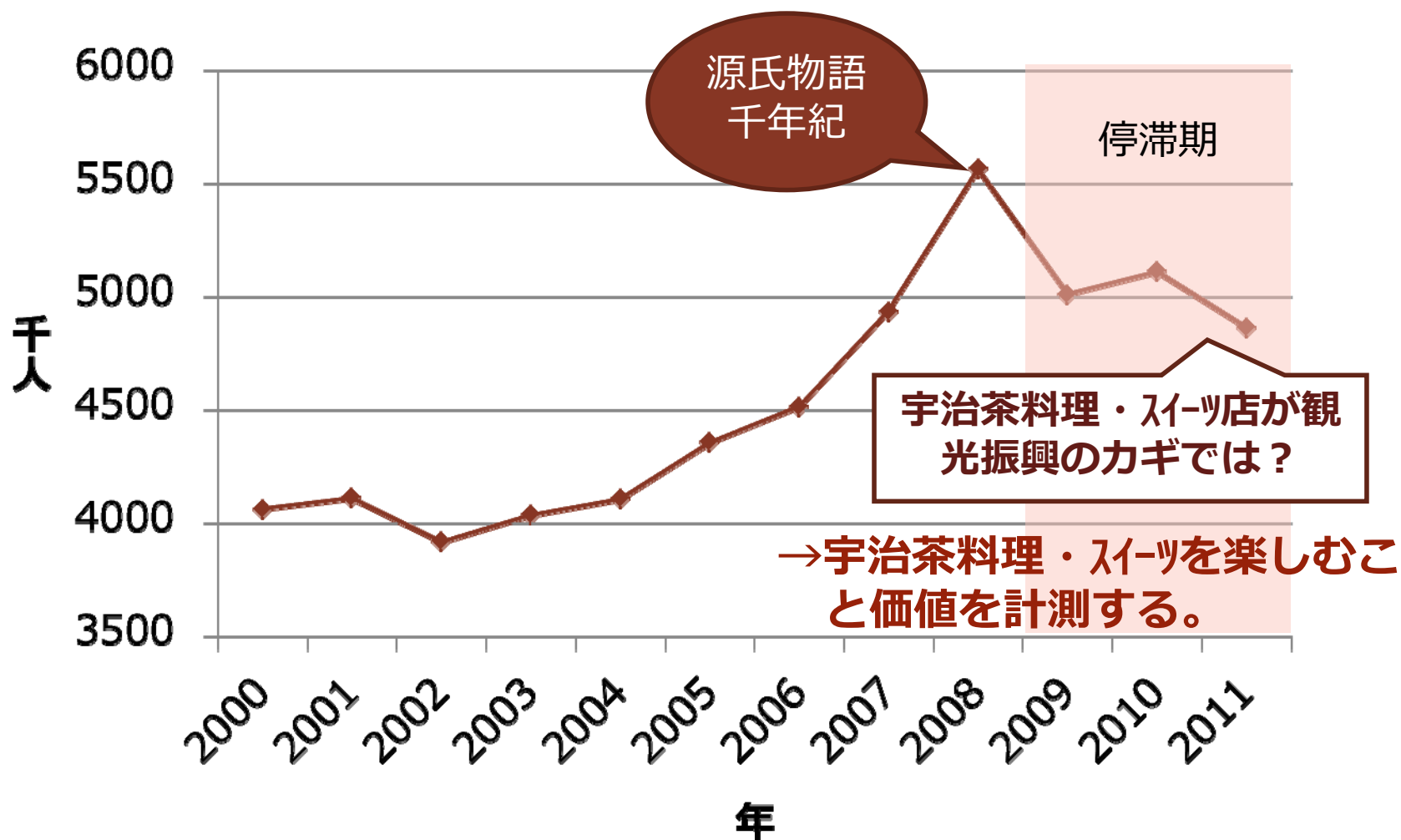


プロジェクトの背景

昨年度のゼミの取り組み

- 市場で取引されない財（非市場財）の価値を計測し、それらを含めた社会の在り方を考える。
 - 自然環境、食の安全性、歴史文化財など。
- 昨年度の2回生のゼミでは、宇治の観光地に注目し、そこで宇治茶料理・スイーツを楽しむことの便益を計測。

宇治市への観光入込客数の推移



出典：京都府観光入込客数調査

宇治の観光地

平等院・宇治上神社などの神社・仏閣

満足感

歴史的な町並み

満足感

宇治川などの自然景観

満足感

宇治茶などの地域産品

満足感

宇治茶スイーツなどの新しい食文化

満足感

などなど…



この大きさを金銭評価し、観光
便益全体に占める割合を計測



プロジェクトの背景

便益とは？



満足感



支払意志額

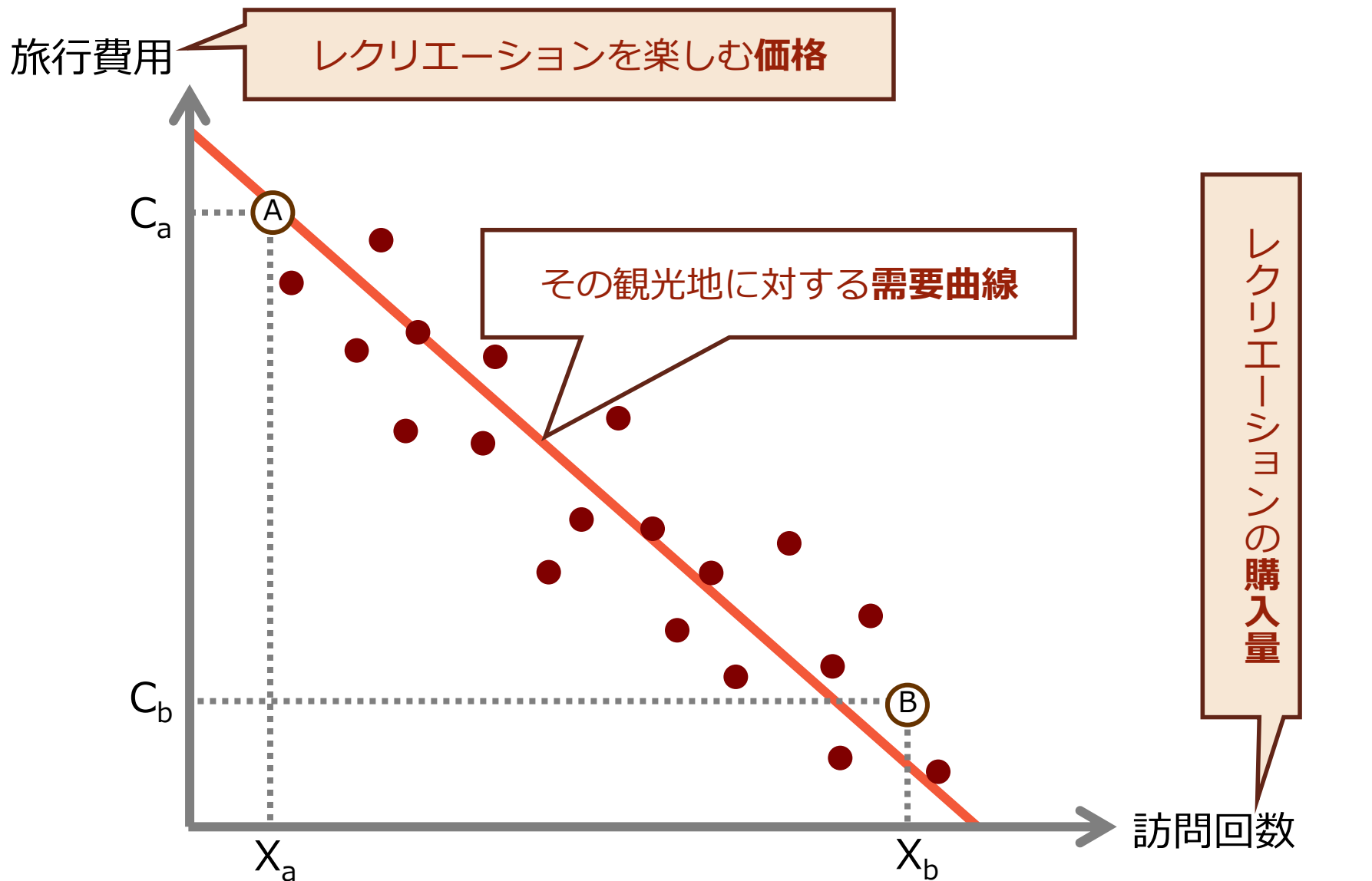


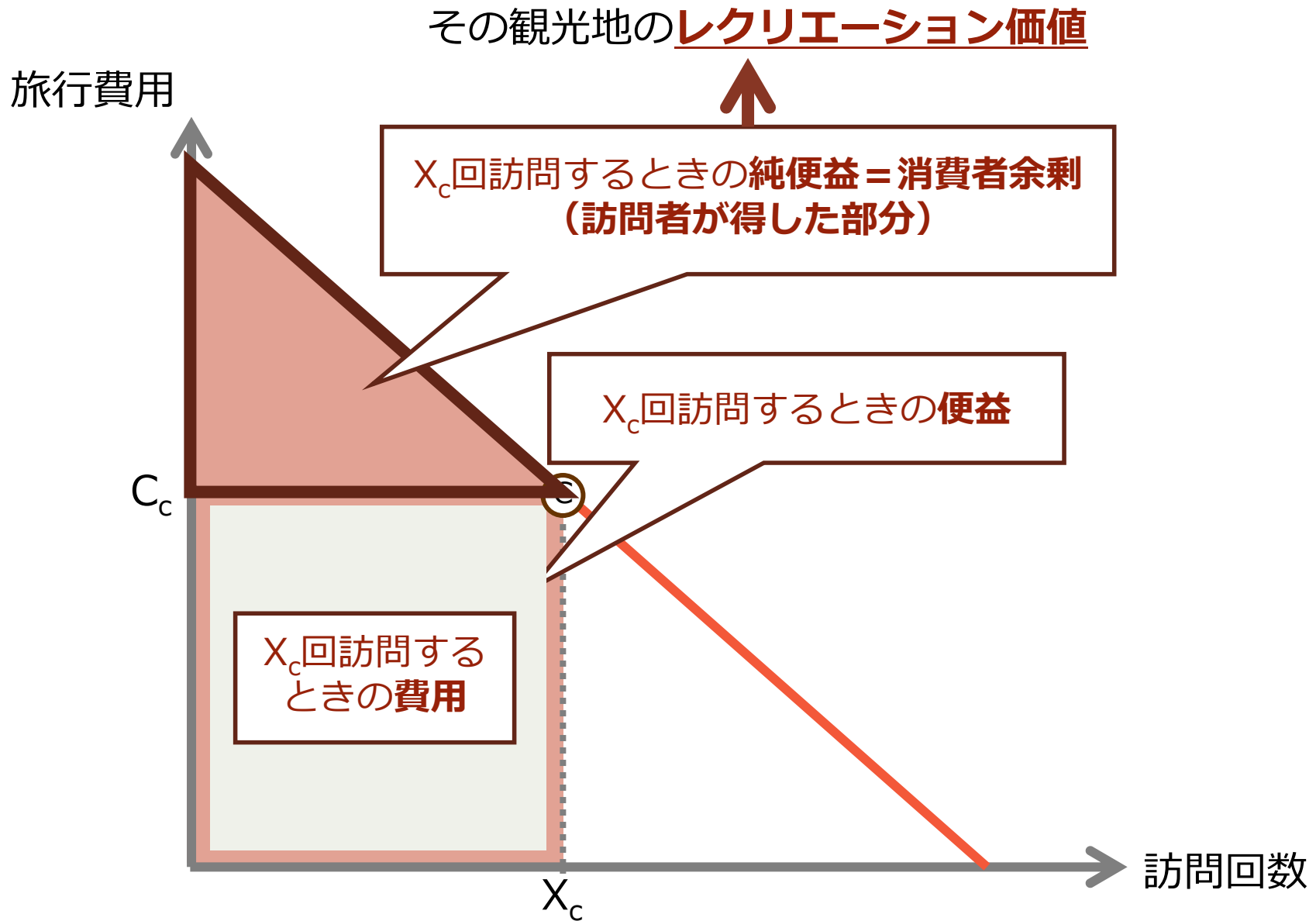
宇治で観光を楽しむ
ことから得られる便
益（満足度をお金で
表したもの）

プロジェクトの背景

トラベルコスト法

- あるサイトまでの旅行費用とそこへの年間の訪問回数の関係からそのサイトに対する需要関数を推定する手法。
- 自然公園や歴史的町並みなど、一般にレクリエーションサイトの評価に用いられる。





宇治の観光地の価値評価

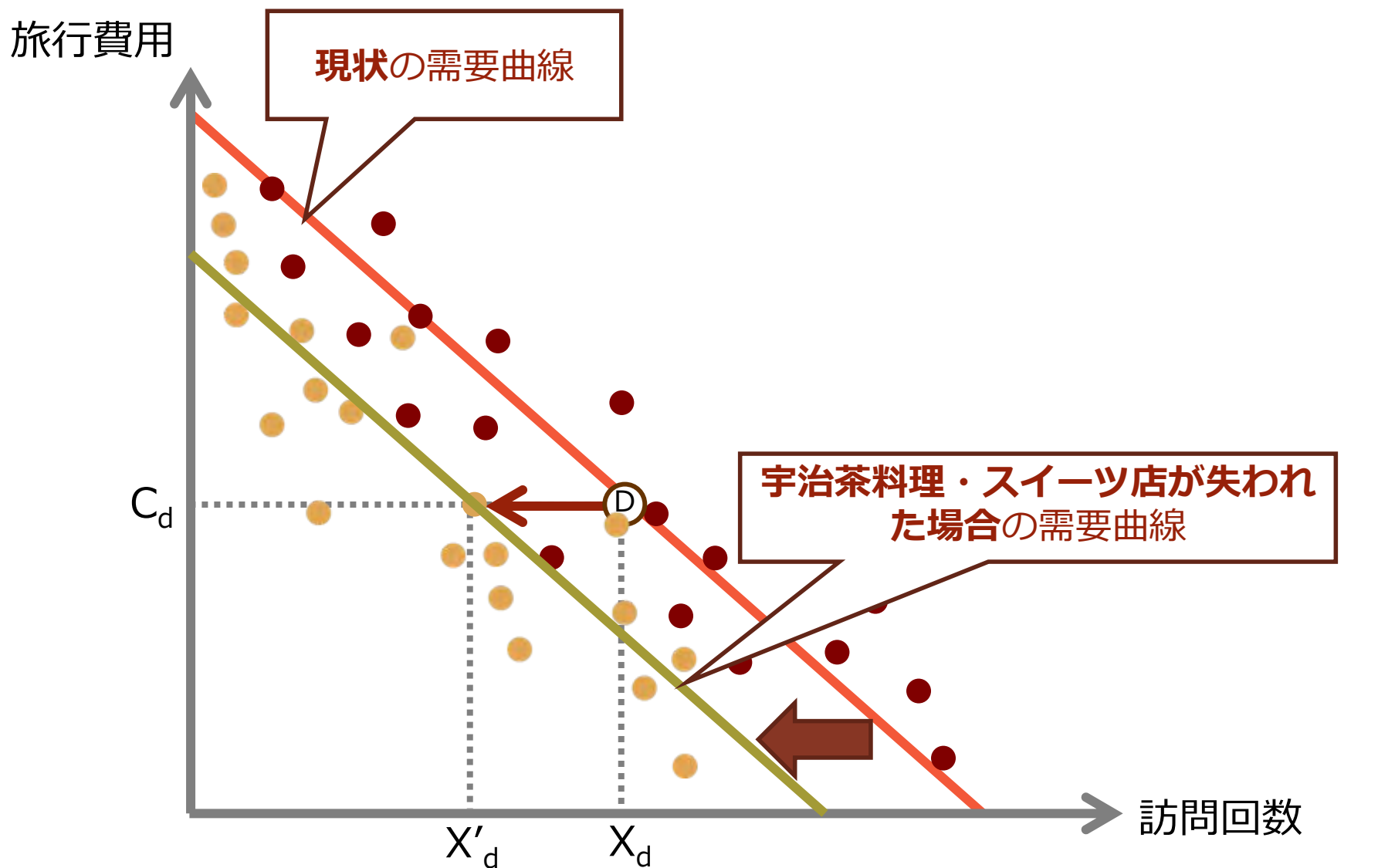
- 2012年10月27日（土）に宇治橋近くとJR宇治駅前アンケート調査を実施。
- 宇治の観光便益の計測に必要な質問
 - 宇治への訪問頻度
 - 自宅の最寄駅→旅行費用を計算
- 104のデータから需要関数を推定し、消費者余剰を計算。

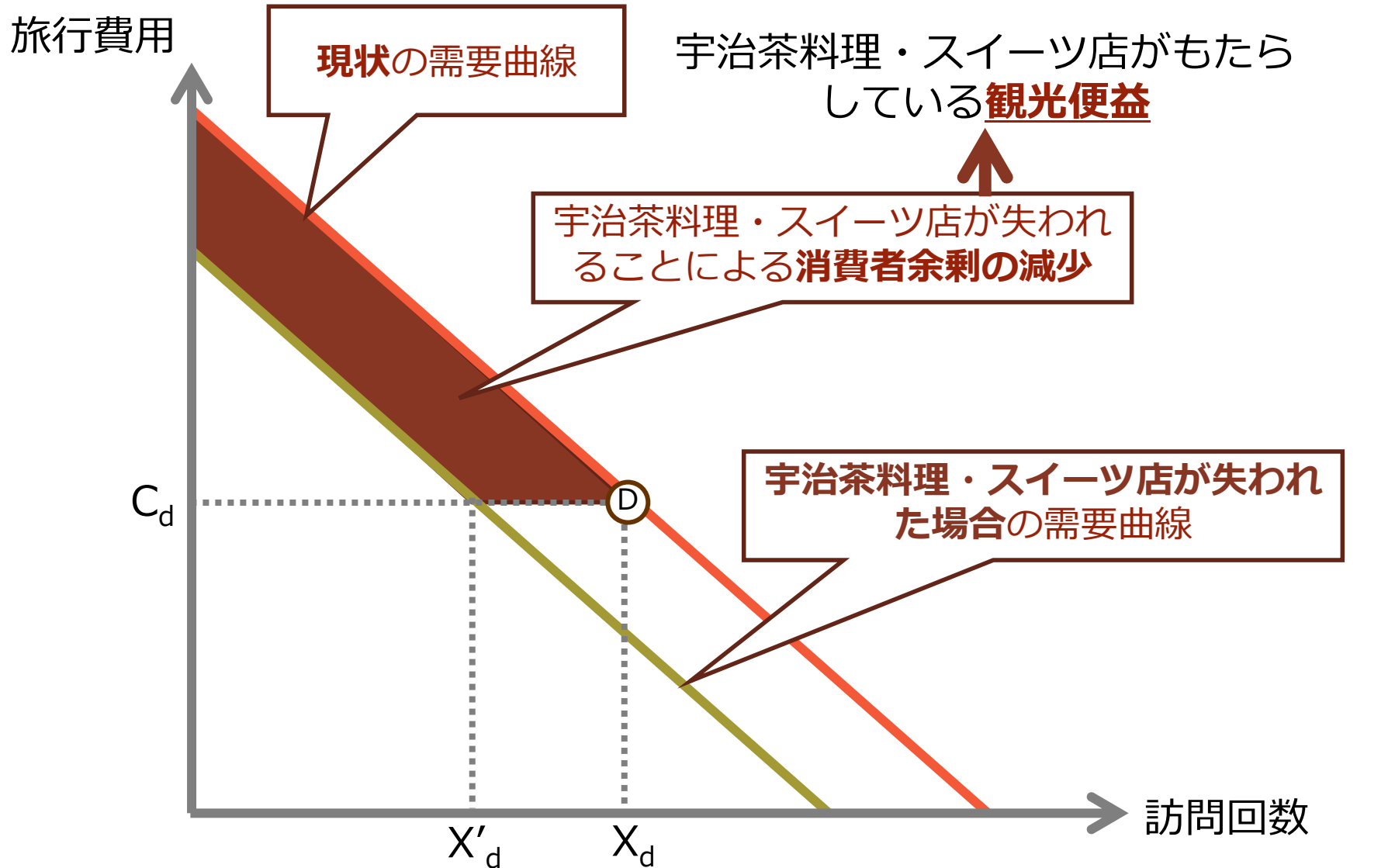


プロジェクトの背景

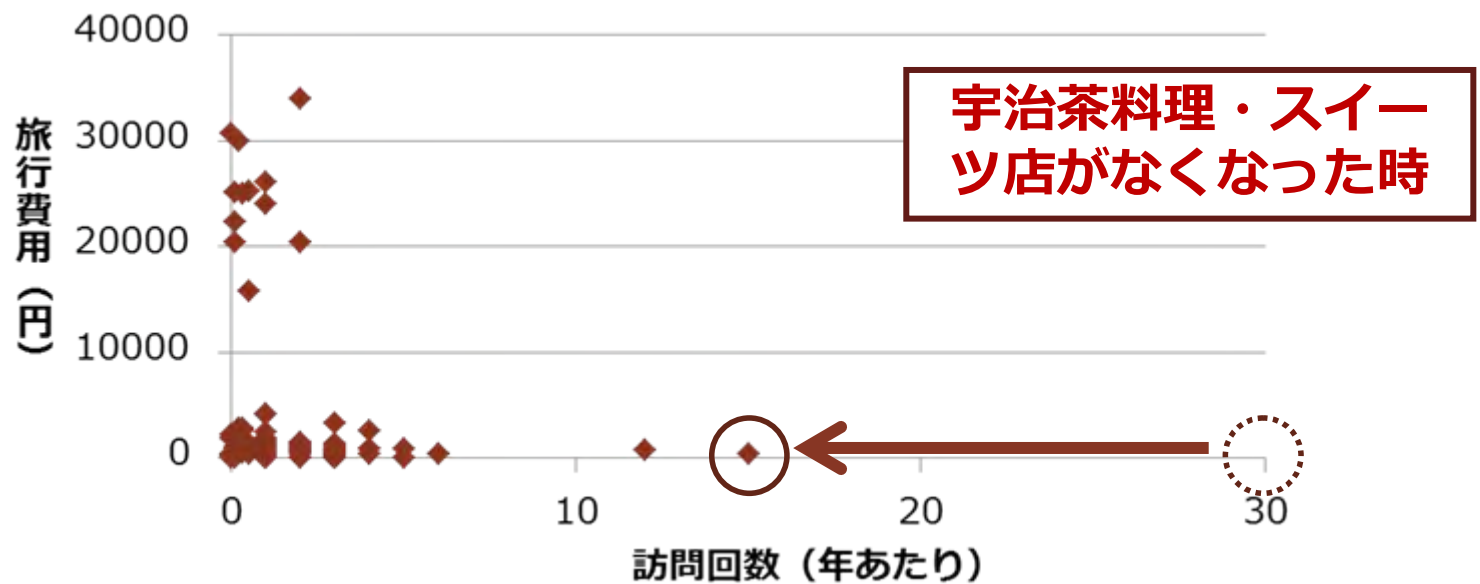
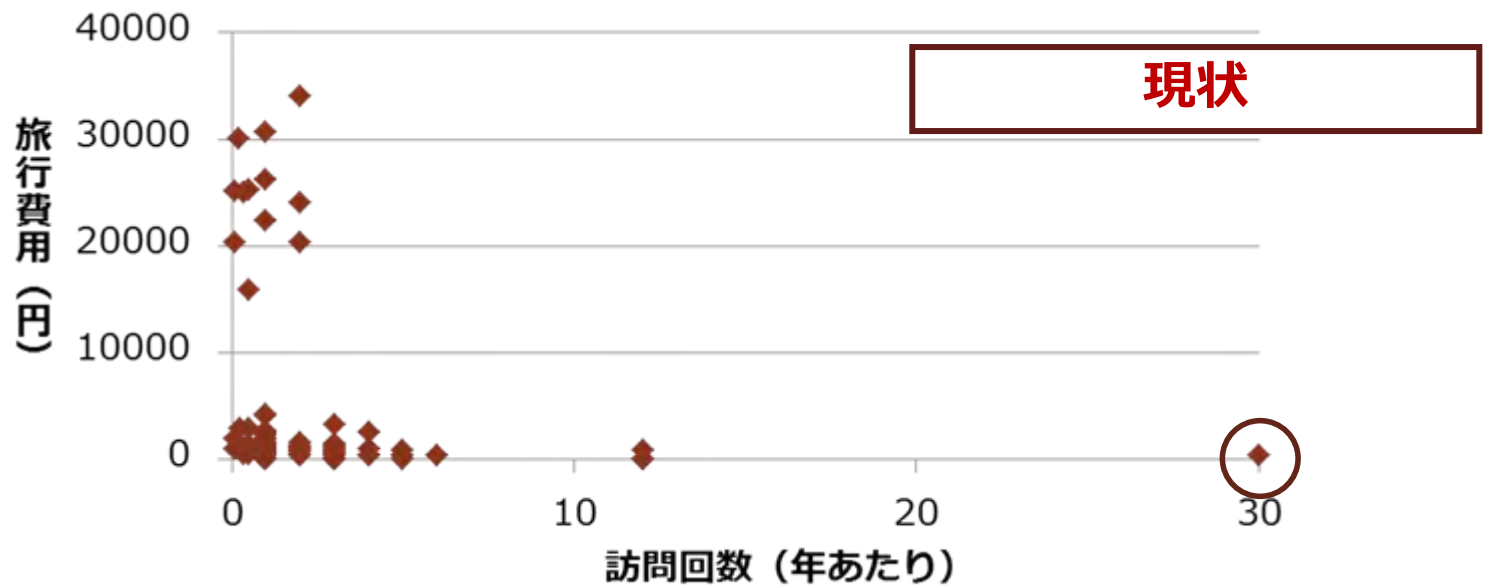
宇治茶料理・スイーツ店がなくなる状況

- 宇治にある宇治茶料理・スイーツ店がなくなり、宇治でそれらを楽しむことができなくなった状況を想像。
- この仮想的な状態における訪問回数を再度質問。
- この仮想状況下では、訪問回数が減少し、需要曲線が左にシフトする。

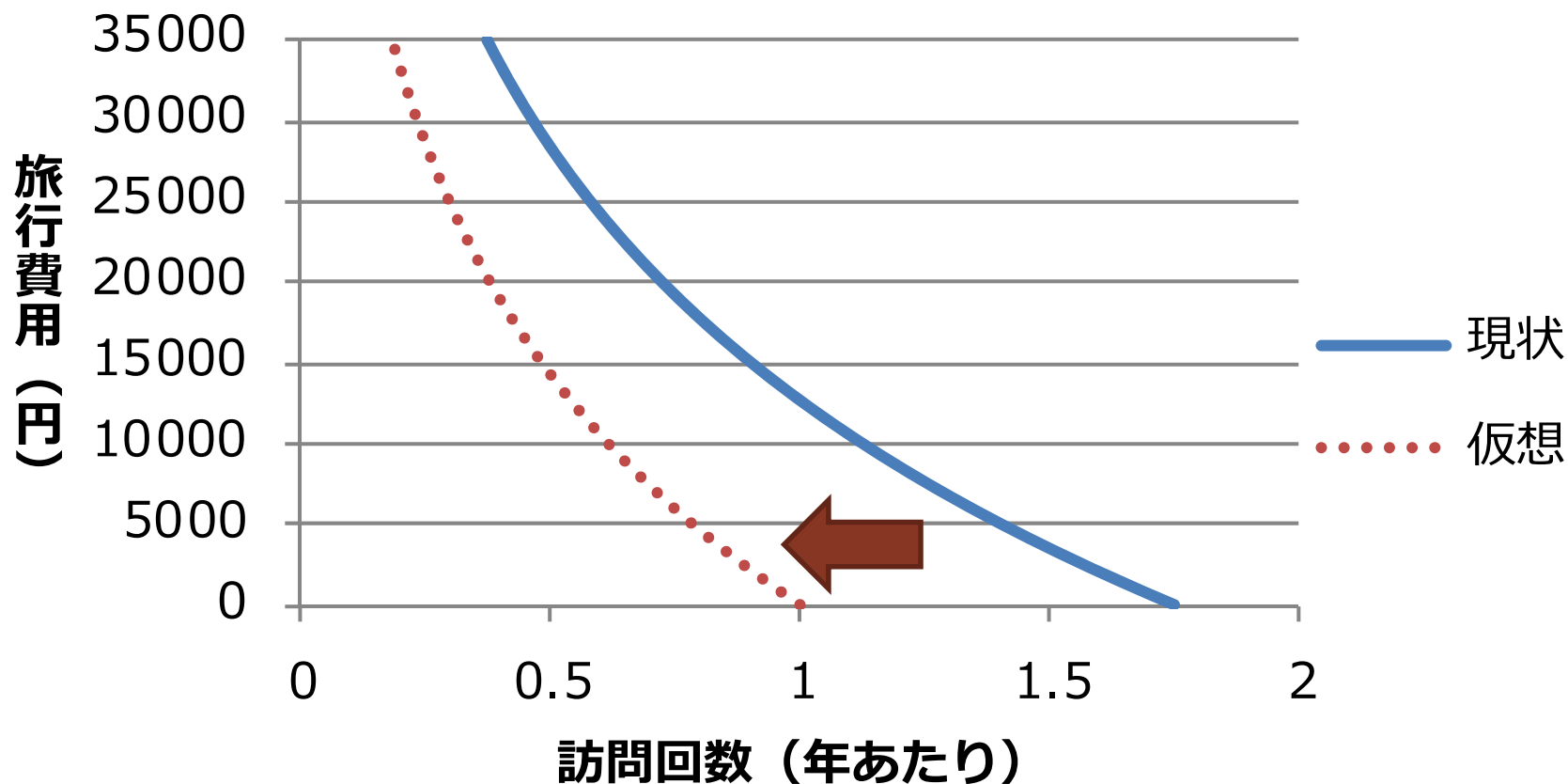




実際のデータ

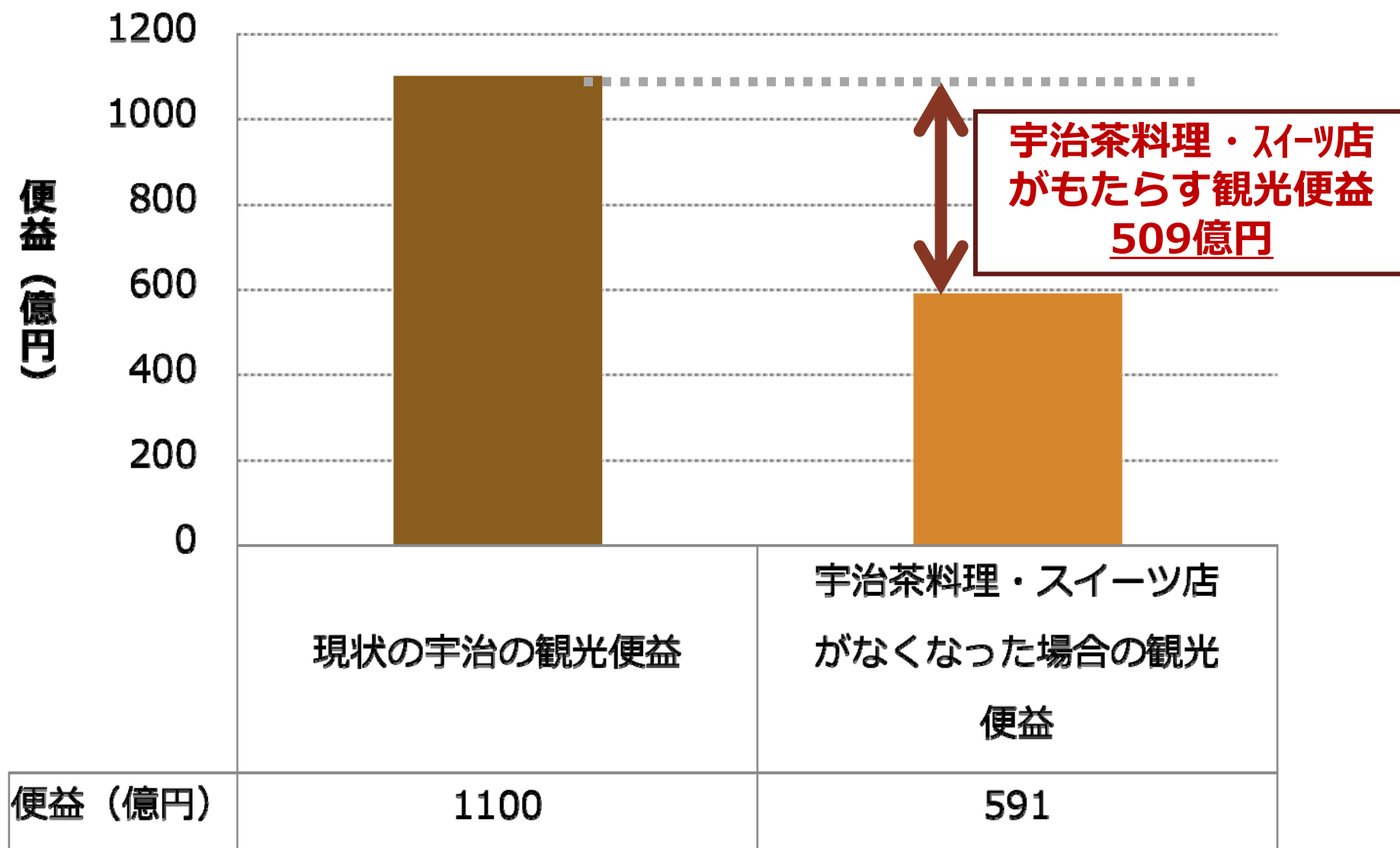


推定された需要曲線



宇治茶料理・スイーツ店がもたらす便益

- 現状の宇治の観光地から得られる消費者余剰の総額は年間約1100億円。
- 宇治茶料理・スイーツ店がなくなるとそれは約591億円にまで減少。
- 差額の約509億円（1100億円の約46%）が宇治茶料理・スイーツ店がもたらす観光便益。
- 宇治茶料理・スイーツ店が宇治の観光に多大な貢献をしている！



プロジェクトの内容

問題意識

- 宇治茶を活かした新しい食文化は大きな観光便益を生み出している。
- その魅力を広くPRすることが、観光振興につながるのでは？
- 宇治茶スイーツを紹介するパンフレットを作って、その効果を検証しよう。

宇治茶スイーツによる観光振興プロジェクト

- 立命館大学経済学部寺脇ゼミ所属の有志のメンバー39名から構成。
 - 2回生17人、3回生10人、4回生11人。
- ゼミの正課の活動とは別に、正課外に取り組む研究プロジェクト。
- 立命館大学の「学びのコミュニティ集団形成助成金」からの支援。
 - 正課の学びを発展させた正課外の活動を支援する助成金。

調査の過程：実食調査まで

- 宇治市役所への説明と情報収集
 - プロジェクトの主旨を理解してもらい、地図情報やスイーツ店の情報を頂く。
- 協力店舗探し・協力交渉
 - Webを中心に宇治茶スイーツをメインに扱っているお店を探し、現地で協力交渉を行う。
- 実食調査
 - 協力が得られた19店舗で一押しスイーツの取材を行い、実食の結果をレポートにまとめる。



調査の過程：Facebookでの広報

- 実食調査結果を専用のFacebookページでレポート。
 - <https://www.facebook.com/ujicha.project>
 - twitterでも連動して記事を紹介。

facebook

友達、スポット等を検索

Q

宇治茶スイーツによる観光振興

宇治茶スイーツによる観光振興プロジェクト

いいね！ 79人・話題にしている人48人

[ページ情報を更新](#) 3

団体
立命館大学寺脇ゼミの有志団体「寺脇部屋」です。宇治で食べる宇治茶スイーツの魅力を広く伝える活動を行っています。

[基本データ](#)

[写真](#)

[いいね！](#)



宇治茶スイーツによる観光振興プロジェクト

8月21日

【実食レポート #4】

店名：京都異庵 あさざり通直販所

お勧め商品1：茶団子田楽 宇治三味（一串130円、お土産用：5串入り650円）

お勧め商品2：煎茶の極み（カップ、コーン共に300円）

訪問日：2013年8月2日（金）

京都異庵あさざり通直販所さんは、京阪宇治駅から正面に向かってのびる道沿いにあります。こじんまりした可愛らしいお店で、目印はこのお店の一押し商品である「茶団子田楽 宇治三味」と書かれたのぼりです。目の前には宇治川が流れており、宇治の自然を肌で感じながら、宇治茶スイーツをいただくことができます。

私たちがまず頂いたのが、その「茶団子田楽 宇治三味」です。上から煎茶、抹茶、ほうじ茶の順番で団子が並んでおり、1串で3種類のお茶の味が楽しめるようになっていました。煎茶は美しい黄金色で、この色を出すのに何度も試行錯誤されたとのこと。煎茶独特の黄金色と香り、ほのかな苦みが絶妙でした。抹茶は宇治抹茶そのものの旨味が口の中に広がり、独特の苦さもなく、とても食べやすかったです。ほうじ茶は、香ばしさと宇治茶ならではの旨みの絶妙なバランス、そして雑味のない上品な味でした。お団子の大きさも一口サイズで非常に食べやすくなっています。煎茶

報告者：S.T. & C.N.

お店のホームページ：<http://www.kyoto-tatsumian.jp/>



いいね！を取り消す・コメントする・シェア

👍 12 🗨️ 1

423人がこの投稿を見ました

📢 投稿を宣伝

プロジェクトの内容

調査の過程：パンフレット作成

- 実食レポートをもとに記事を作成。
- パンフレットをデザイン。
- 10月の始めに「宇治茶スイーツ店マップ」が完成。
- 10月21日に発行、9000部を配布。



調査の過程：パンフレット配布依頼

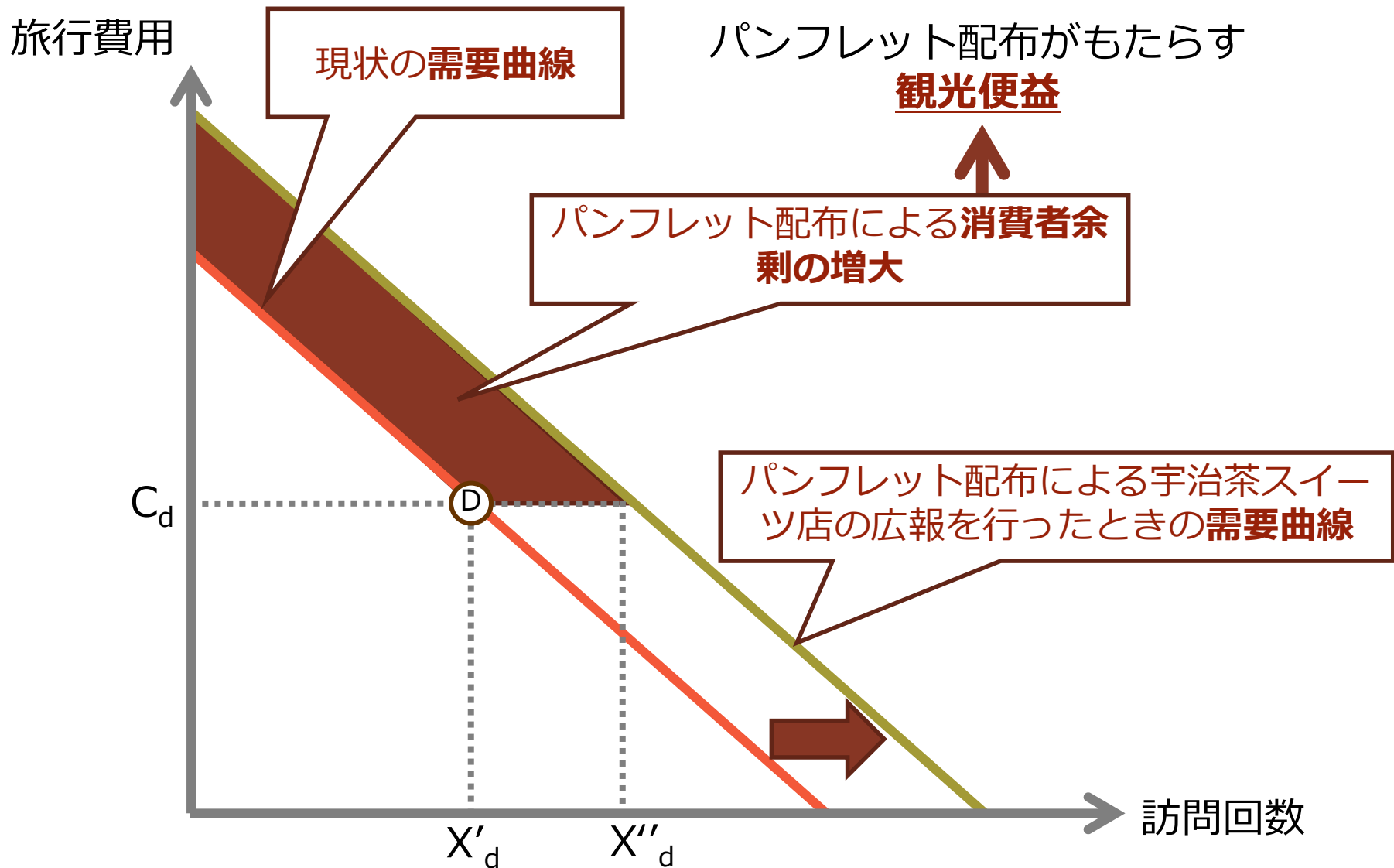
- 各地から宇治に観光に来てもらうため、京都はもちろん、東京、名古屋、大阪、広島などでも配布。
- 京都では、京都総合観光案内所(京なび)、ホテルグランヴィア京都などで入手可能。
- 学内の生協ショップなどでも配布。

パンフレット設置場所

地域	設置場所(公表の許可が得られた場所)
東京	あんみつ抹茶処 雷門 まといなど
愛知	大黒屋本店、茶香丸源など
滋賀	立命館大学(BKC)など
京都	立命館大学(衣笠)、京なび、グランヴィア京都など
奈良	ドコモショップ西大寺店など
大阪	ドコモショップ鶴橋店など
広島	交渉中
その他	他大学のスイーツサークル、東京、福岡での観光イベントなど

調査の過程：配布効果の検証

- パンフレットの中に添付されているアンケートに回答してお店に提出すれば、優待サービスが受けられる仕組み
 - 優待期間：10月21日(月)～12月15日(日)
- パンフレット配布効果検証のための質問
 - このパンフレットが毎年発行されるとき、宇治への訪問頻度はどうかかわるか？
- 今後このデータを分析し、効果を検証。



プロジェクトの特徴

プロジェクトの新規性

- 宇治茶スイーツ店に特化したマップの作成は初めての試み。
 - これまでこのようなパンフレットは作られてきていない。
- その配布の効果を経済学的に検証するのも初の試み。
 - 成果を社会にフィードバックする。

プロジェクトにおけるこだわり

- パンフレットは完全オリジナル。
 - 全部自分たちでやろう！を目標に。
 - ※ 写真は一部お店から提供頂いています。

- データをもとに実証分析をしっかりと行い、研究として完結させる。
 - 学生として自らの成長につなげる。